

## 転倒予防チーム

---

転倒予防チームは、市立伊丹病院入院患者の転倒を予防すること、並びに地域高齢者の転倒・骨折予防を目的として、2012年9月に医療安全管理室のもとに設置されました。現在、老年内科医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、薬剤師の多職種からなるチームを編成しています。

### 1) 近年の活動内容

- (1) 転倒高リスクの入院患者や転倒で怪我をした入院患者の療養環境に対して、チームで回診（病棟ラウンド）をしています。多職種個々の専門的立場から転倒の要因を予測・考察し、転倒の予防策や再発防止策の立案を支援しています。転倒し難い環境に、また転倒しても怪我が大きくなるような環境の提供に努めています。

#### ① 病棟ラウンドで未然防止

時に入院中の転倒、転落を防止するため、療養環境に問題がないかラウンドしています。



- (2) 2019年度より入院床頭台のテレビ（無料）で患者・家族向け転倒予防ビデオの放映をしています。

(3) 当院では、市民の皆さんへの情報提供の場として市民公開講座を開催しています。新型コロナウイルスが蔓延下で一時中断していましたが、転倒予防チームは2024年度に「ポストコロナ時代の転倒予防教室」を開催いたしました。

① 市民公開講座で転ばない体づくり

毎年、『転ばないための体づくり』をテーマに、転倒予防チーム（FunBA）が市民の方々へ市民公開講座を開催しています。



(4) 当院は新型コロナウイルスが蔓延し対面が困難な状況下で、「市立伊丹病院特集号」（広報伊丹 2021年11月1日号、2022年7月15日号の折り込み新聞）を作成し、紙面での情報提供を行いました。転倒予防チームからも「家庭でもできる転倒予防！～コロナ禍で運動不足になっていませんか？～」「家庭でもできる転倒予防！②～コロナ禍での運動不足を補うツボ（経穴）～」の題で記事を掲載しています。詳細は広報伊丹をご参照ください。

これからも病棟ラウンドを中心にチーム活動を継続し、院内および地域の転倒事故減少に努めてまいります。皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。